

4-5. 気高海岸

4-5-1. 概要

写真 4-9 に、気高海岸の空中写真および現地写真を示す。

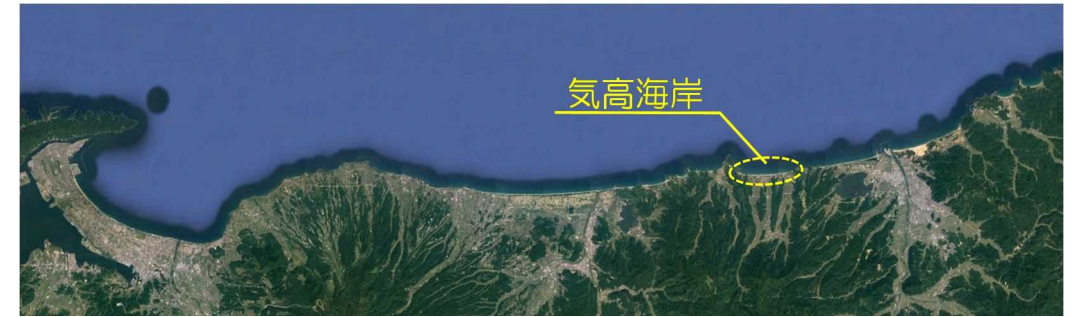


写真 4-9 気高海岸の航空写真（平成 30 年撮影）と現地写真（平成 31 年 9 月撮影）

4-5-2. 土砂投入実績

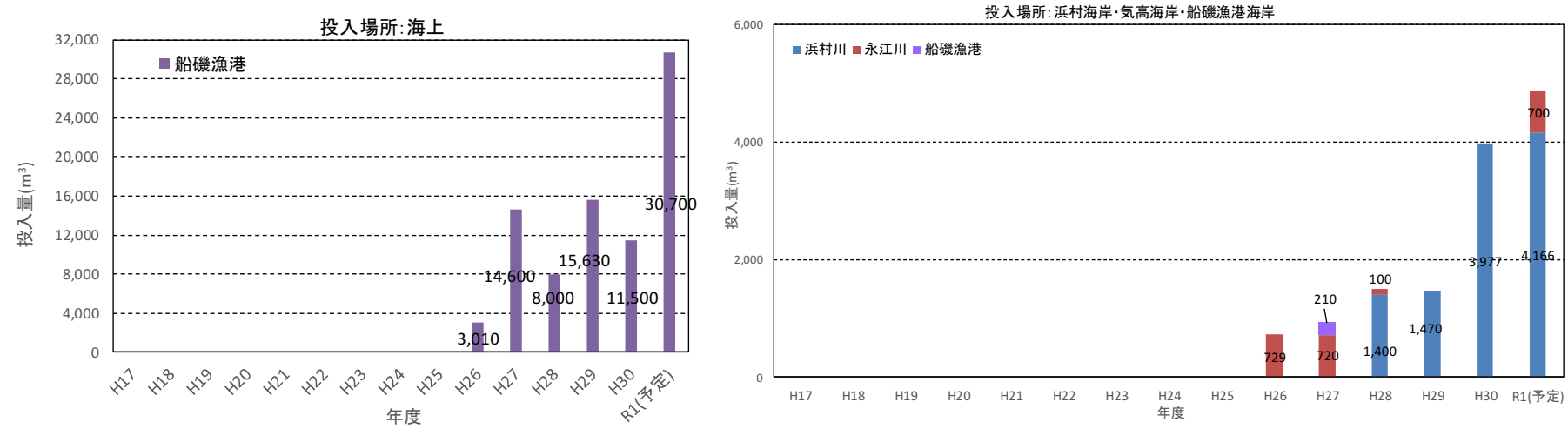


図 4-37 気高海岸における土砂投入状況

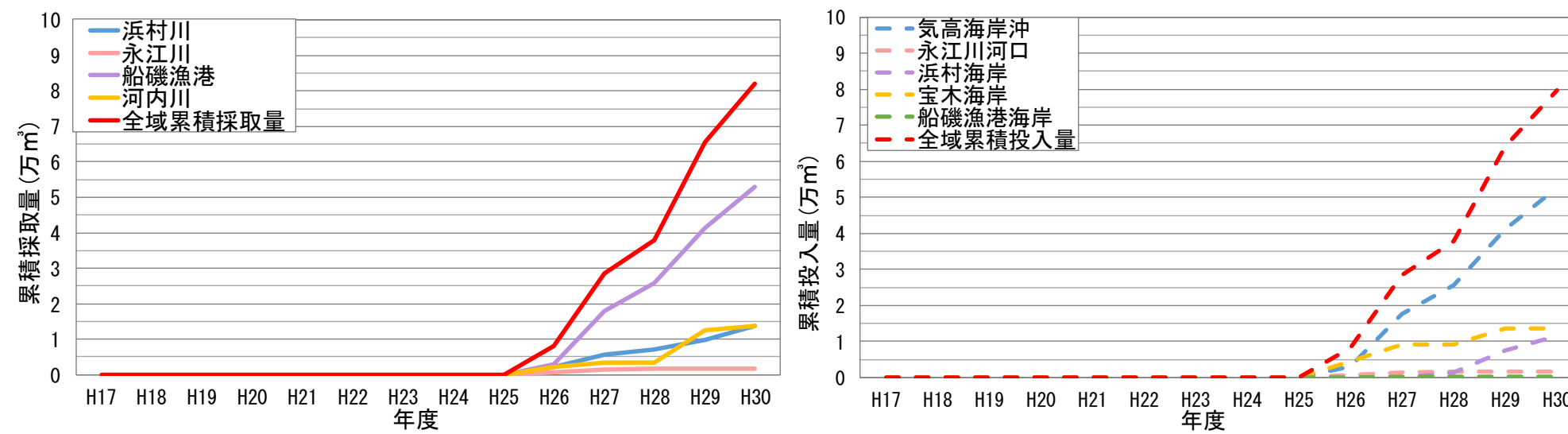


図 4-38 採取場所別の累積採取土砂量 (左図) と投入場所別の累積投入土砂量 (右図)

4-5-3. サンドリサイクル効果分析

(1) 汀線変化分析

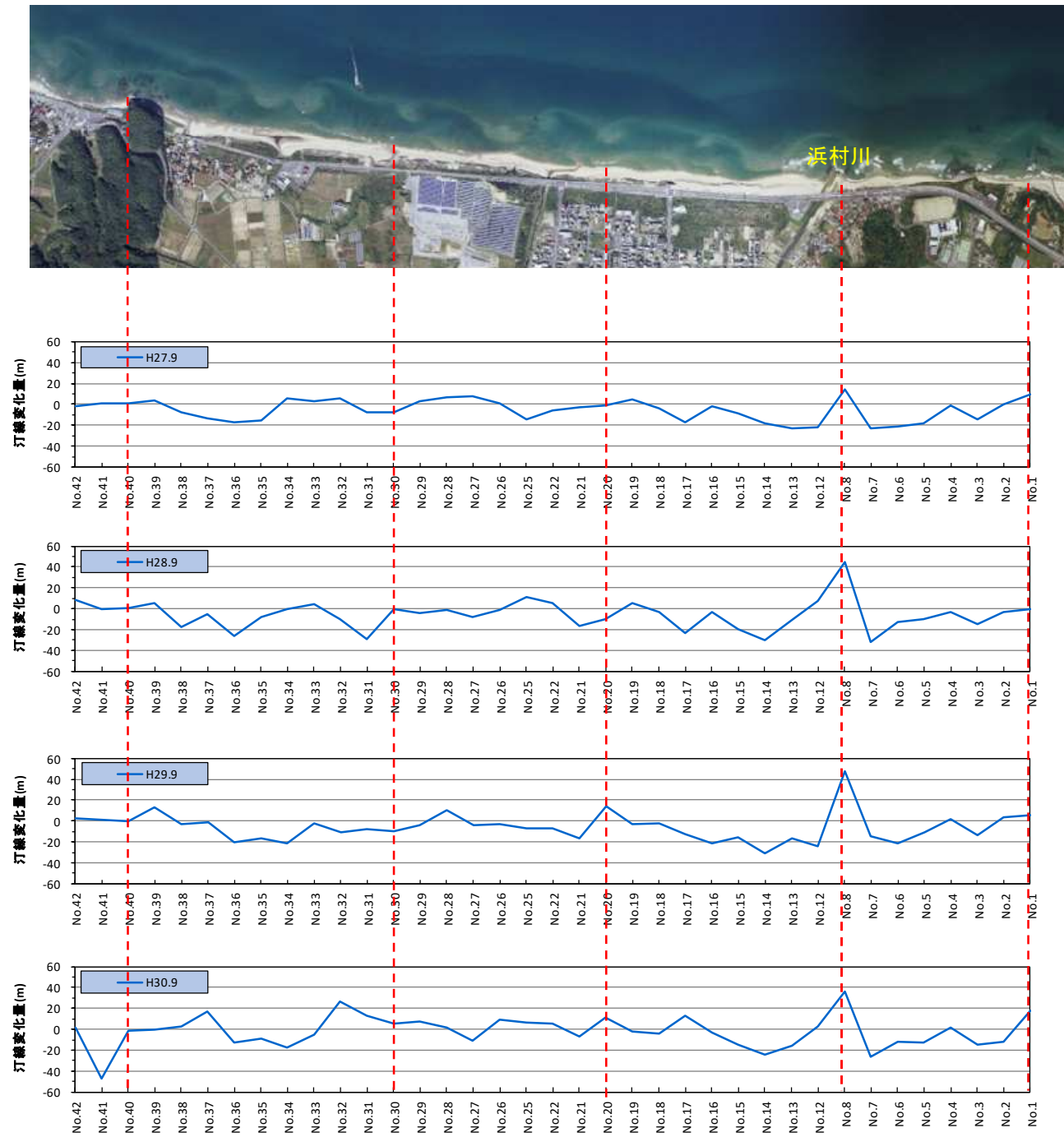


図 4-39 気高海岸の近年の汀線変化図 (平成 14 年 9 月基準)

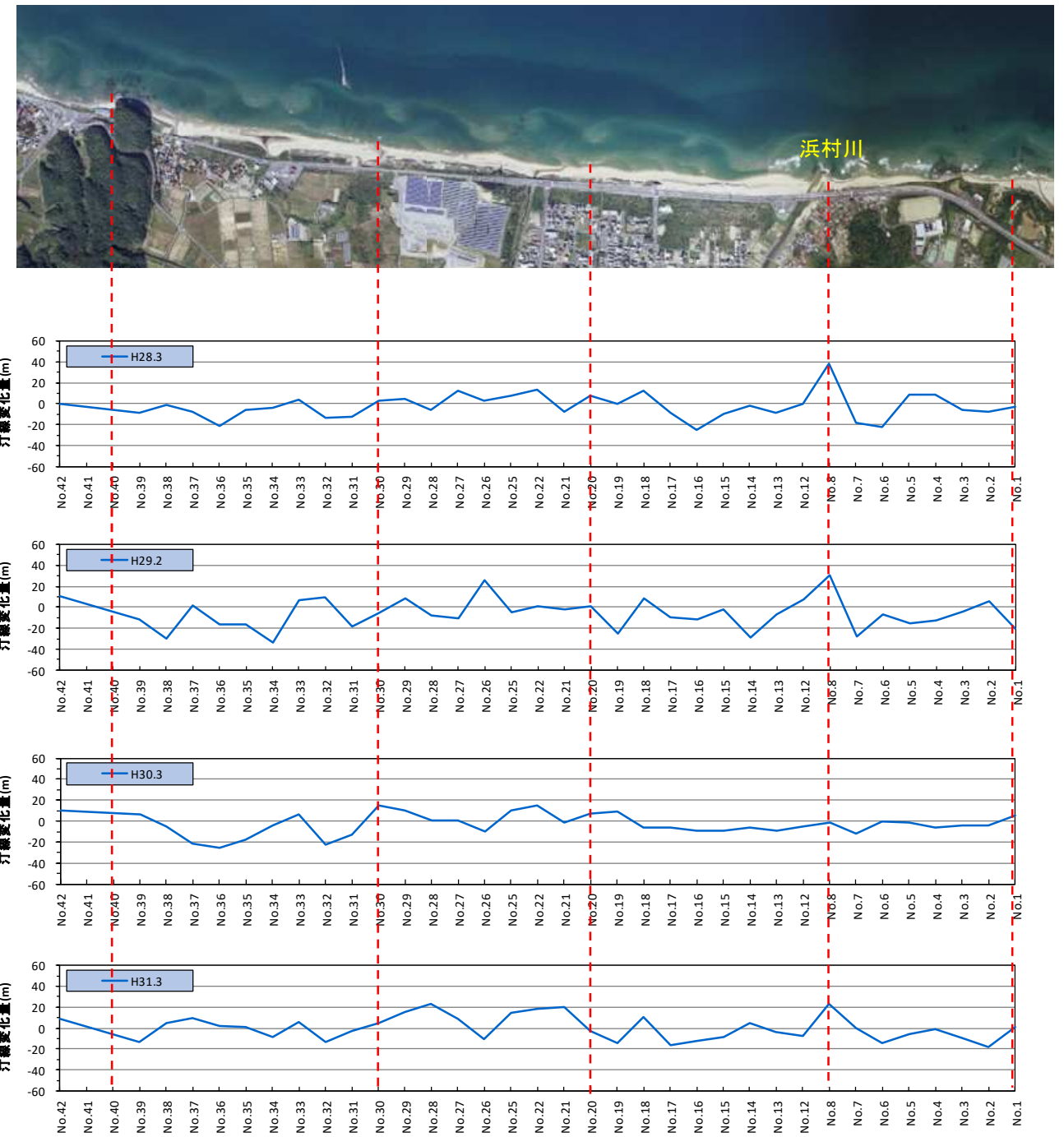


図 4-40 気高海岸の近年の汀線変化図 (平成 14 年 3 月基準)

- 気高海岸は比較的水深の浅い領域に岩礁が点在しており、汀線形状が波型となっているため、沿岸方向にサイクリックな汀線変化分布となっている。
- 全体的には、侵食、堆積の明瞭な傾向はなく、汀線変化の沿岸分布は形成されるものの、空間平均を見れば変動が少ない海岸となっている。

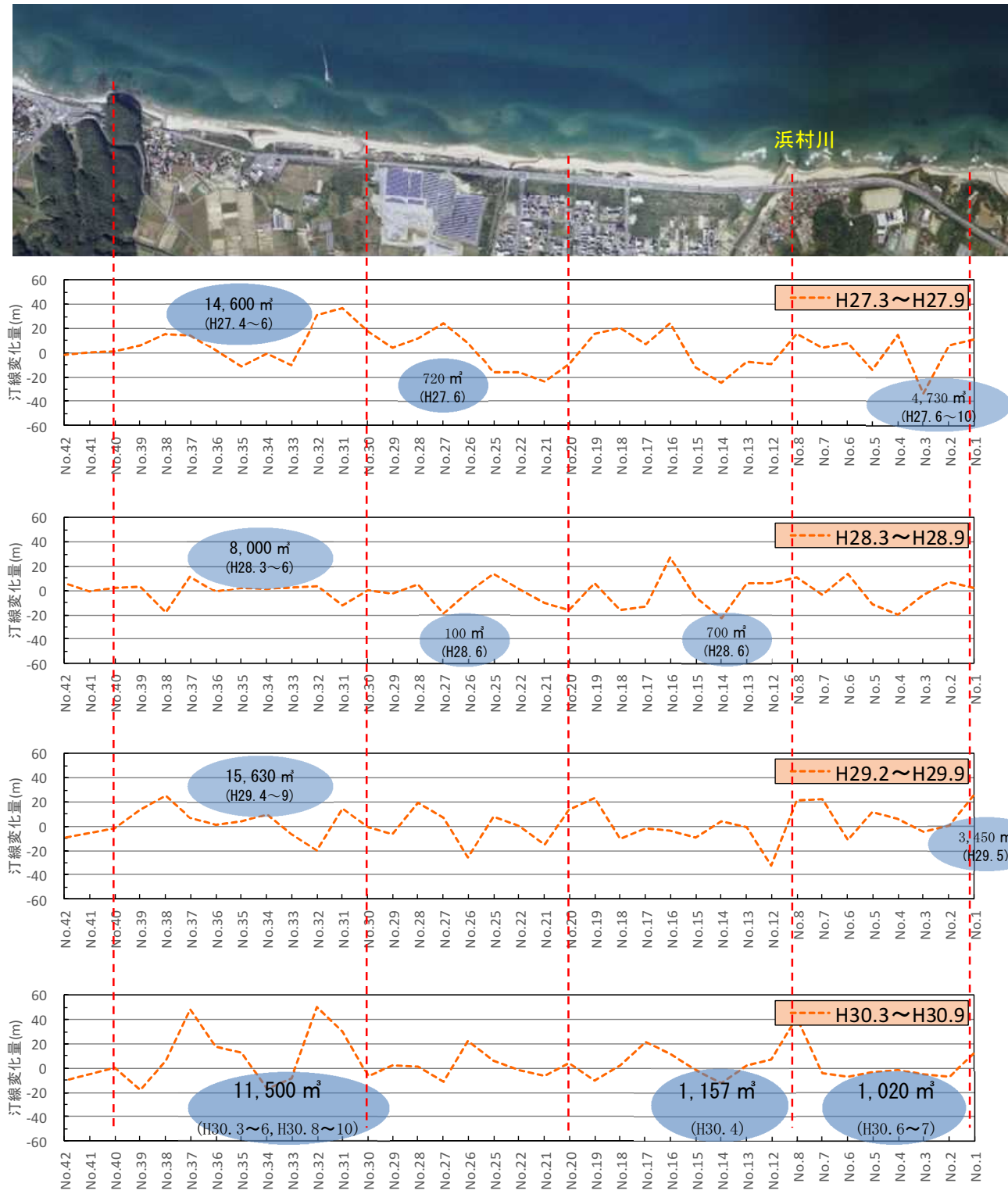


図 4-41 気高海岸の近年の汀線変化図（春から秋の変化量：1年毎）

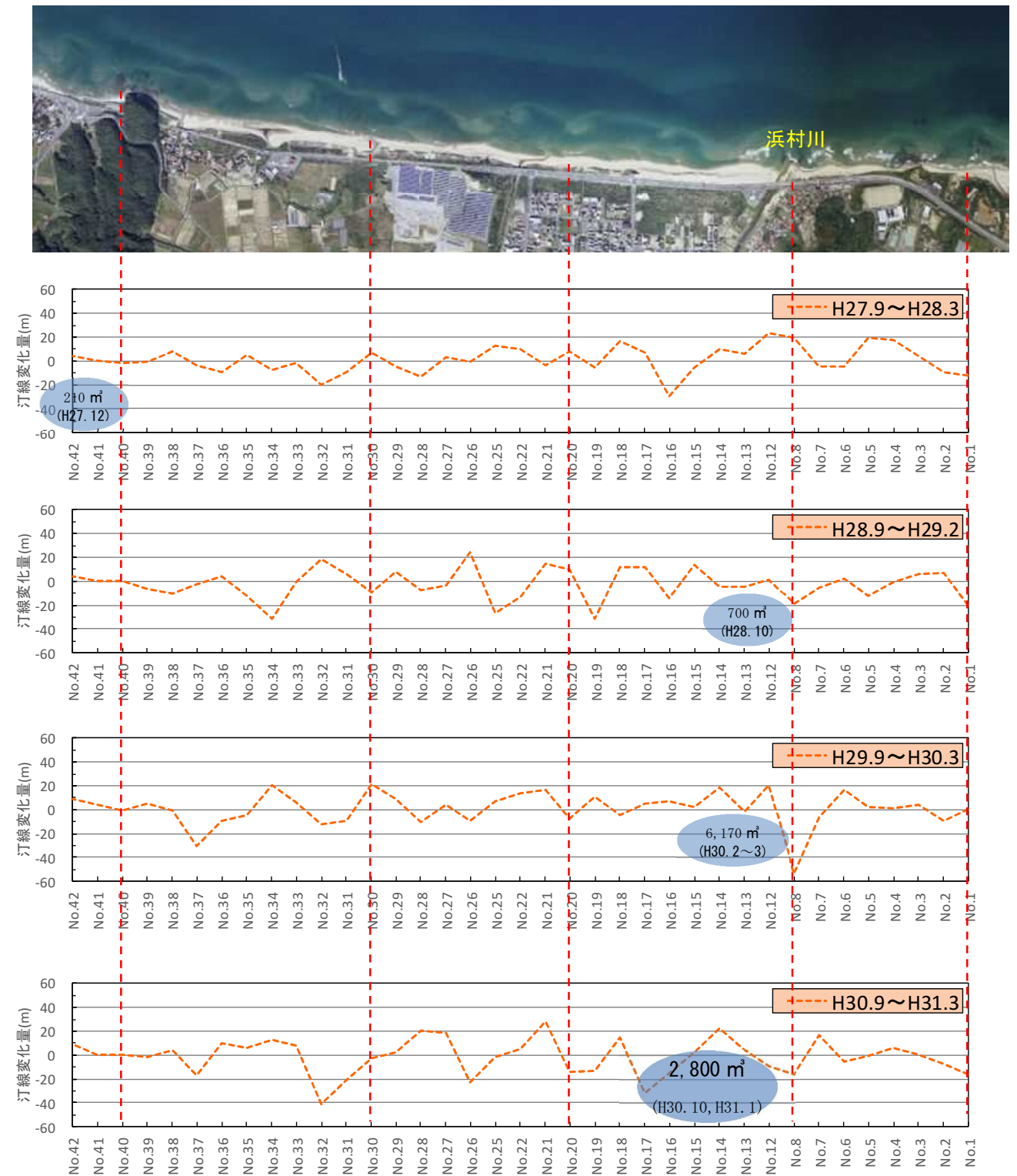


図 4-42 気高海岸の近年の汀線変化図（秋から春の変化量：1年毎）

(2) 浜幅分析

図 4-43 は、直近 3 回分の測量データに基づいて算出した浜幅と、利用面 (40m)、防護面 (25m) の目安となる浜幅を比較したものである。

- 浜村川の東側で国道 9 号が海岸に凸曲線を描いており、この領域での浜幅が狭くなっている。この区間は土砂投入された実績もあり、保全浜幅を確保するための保全計画 (サンドバイパス実施基準を設定する等) を検討することが望まれる。

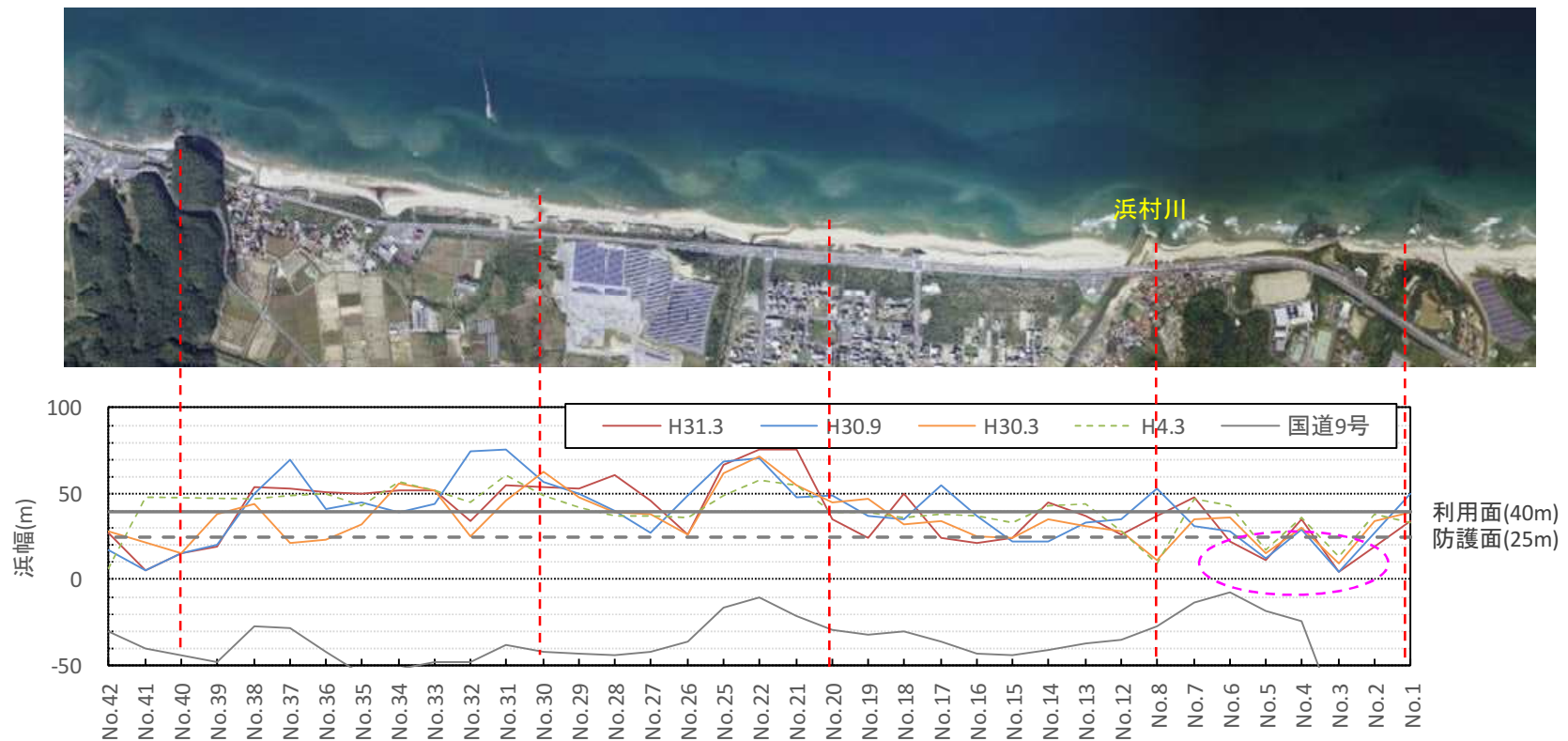


図 4-43 利用面、防護面の目安とする浜幅との比較